

令和6年度 第2回関市立図書館協議会 会議録

日時 令和7年3月21日（金曜日）午後1時30分～

場所 わかくさ・プラザ 総合福祉会館 3階2-1会議室

◆出席者

（図書館協議会委員）

三輪英二、波多野壽美、平川貴久、河合裕子、早川貞子、鈴木幸子、藤井和敏、河合よし子

以上8名

※欠席者 櫻井純子

（事務局）

多田和生協働推進部長、野田和江生涯学習課長、深川理代

（図書館）

庄司龍彦館長、亀山並枝館長補佐

◆傍聴者 なし

1 開会

2 会長あいさつ

先日、図書館長さんに会った時に、リビーという電子図書館のアプリをインストールしてもらいました。これが非常に便利で、本を借りて2週間たつと自動的に返却されるので、わざわざ返しに行かなくてもいいし、その場で夜でも昼でも本を読むことができます。そういう時代になってきたんだなということを改めて感じた次第です。世の中では、確定申告でも電子マネーやカードで支払いができたり、自販機でもペイペイを使ってスマホで購入したりできるようになりました。しかし、スマホを無くしたり、落としたり、壊れた時はどうなるんだという問題や、個人情報はどこかに流出しないかというような危険性を孕んではいますけれども、便利なものは使っていきたいという事と、年々歳を重ねていくので、乗り遅れないようにしていこうかなという風に思っている現状です。

図書館の方に戻しますが、本を読む人が少なくなってきたと言われていますが、紙は紙の良さがありますのでそれを大切にしながら、新しい物も取り入れていけたらいいなという風に思いますし、私は毎日のように歩いてるので、たまには歩くのをやめてじっと本を読むような時間も持ちたいと思っているところです。ちょっと前に、全国の市町村で街の本屋さんがどんど

ん減っていくという報道がされていました。私は今、関市の西部地区に住んでいますが、近所に芥見のバローがあります。その中にも本屋さんがありましたが、この前行ったらなくなっていました。本屋がなくなるということを身をもって感じました。そのような状況で身近な地域に図書館があるということは、活字離れが言われている中、やはり必要なことだなということ改めて再認識しました。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

2 館長あいさつ

今日はお集まりいただきましてありがとうございます。

関市立図書館はとても過ごしやすい空間で、わざわざ隣の市町村から来館いただいている方も大変多く、とても好評をいただいていると感じています。

シェアリングという事が言われていますが、人や物の重なり、図書館も紙と電子の重なりと、いろんなものが交錯していて、それを整理して図書館運営を行っていかねばならないと思っています。

今日は今年の実践と来年度に向けての報告をしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 協働推進部長あいさつ

委員の皆様方にはご多忙のところ、本日の会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、図書館の運営につきまして格別のご支援、ご指導を賜りまして、改めて深く感謝申し上げます。

本日は、令和6年度の図書館運営状況と令和7年度の事業計画のご説明となります。このメンバーでの会議はこれが最後になります。ぜひ皆様から多数のご意見を賜りまして、より良い図書館にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4 議事

- ・三輪会長による議事進行

① 令和6年度の図書館運営状況及び令和7年度図書館事業計画について

- ・図書館長より資料に基づいて説明

5 質疑応答

【委員】図書館見学のところで下有知ふれあいクラブとあったが、どのようなクラブですか？

【館長】放課後こどもクラブです。

【委員】先日新聞に県図書館で蔵書検索A Iを導入したという記事が載っていました。図書館

を利用したことがない人でも興味のある言葉で検索すれば適切な本が見つけてもらえるというサービスのようですが、今後関市でも取り入れたりしますか。

【館長】まだ開発されたばかりで、我々も先日業者から説明をうけたばかりです。まだ導入館が少ないため費用が高いので今すぐの導入は難しいですが、今後費用が下がった時点で導入を検討していきたいと思います。

【委員】仕事の情報は、ネットでも調べますが、ネットは情報の出所がはっきりしないものが多いので、やはり本で調べることが多いです。法律などは毎年改正があるので、図書館の本は改正前の物だったりするので、毎年買うのは難しいとは思いますがある程度新しい本を入れていただけると有難いと思います。

居心地のいい図書館、あるいは特色のある図書館ということで工夫されてるなと感じています。先日、名古屋の知人とここの図書館を訪ねましたが、この環境や設備を素晴らしいと驚いていました。

【館長】新しい本は利用者からのリクエストもできますので、活用していただけたらと思います。また関市の図書館には無くても連携している他館にあれば取り寄せることもできますので、相談いただければ対応ができます。

【委員】森のはなれをたまに使わせてもらいますが、自習したり飲食したりととてもいい場所なのでもっと周知ができるといいと思います。

【委員】大きな流れとして、電子というのは絶対に進んでいくとは思いますが、昔ながらの紙の良さも確実にあると思います。読みきかせのボランティアをしていますが、ここの図書館でアドバイスをいただきながら、興味をもってもらえそうな本を探したり、試行錯誤でやっています。

【委員】絵本の読み聞かせは私もやっていますが、私たちが若い頃に子どもが興味を持った絵本と、最近の子どもさんが飛びついてくる絵本が違うなと感じています。その辺りも考えながら、子どもたちにどんな本を提供したらいいのかと考えてやっています。ふれあいセンターを普段使わせていただいています、ふれあいセンターにおいてある本はこういう本が欲しいという希望が出せますか。

【館長】出来ますので、ふれあいセンターの担当の方に出していただけたらと思います。

【委員】子ども達への読み聞かせは大切だと思いますが、先日ふれあいセンターで社協の方が高齢者向けに紙芝居をやっていただいて大変好評でした。子どもだけでなく大人向けに

もやっていくと広がりがあったよかったです。

【館長】現在は高齢者施設でコンサートと一緒に読み聞かせも行っていますが、ほかにもそういった視点で事業を考えていきたいです。

【委員】母親むけに絵本を読む機会があって、反応がすごく良かった。読むばかりでなくて、誰かに本を読んでもらうという経験が大人にもあるといいなと感じました。

【会長】図書館では、本当に居心地のいい図書館、魅力ある図書館ということで、いろんなことをやっていただいていますので、他の市町村に誇れるような居場所を目指していたきたいと期待しています。学習情報館では図書館だけでなく1階も2階も、高校生や中学生や大学生が勉強していく様子が見られますので、ぜひそれ続けていただけると有難いと思います。

6 閉会（生涯学習課長あいさつ）

長時間にわたりまして、色々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。私も図書館の様子を見ていますが、あらゆる年代の方に活用いただいております。それは時期であったり、時間帯であったり、要因によって違いはあるんですけども、あらゆる年代、赤ちゃんからご高齢の方までご利用いただいている、それぞれに魅力的なものになってきているのではないかなという風に感じています。

また、生涯学習課としても、森のはなれでコンサートを開催しましたが、0歳から聞けるという風に名をうってコンサートをしましたので、本当に赤ちゃんや小さなお子さんも来ていただいて、一緒に演奏家と歌を歌いながらという場面もありました。初めて森のはなれに来た、こんな素敵などころがあるなんて知らなかったという方もいらっしゃいました。そこから図書館の利用に繋がっているのではないかという期待も込めているところです。

読書は豊かな生活ということに繋がっていくと思います。その中でも図書館というのが大変大きな役割を果たしてまいります。間もなく春休みを迎えますので、多くの方に利用していただいて、快適な環境になるように私たちも一生懸命努力をしていきたいと思っていますので、またご意見ありましたら、お寄せいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。